

HP Indigo V12



デジタル印刷機

ラベル印刷の新しき“解析”

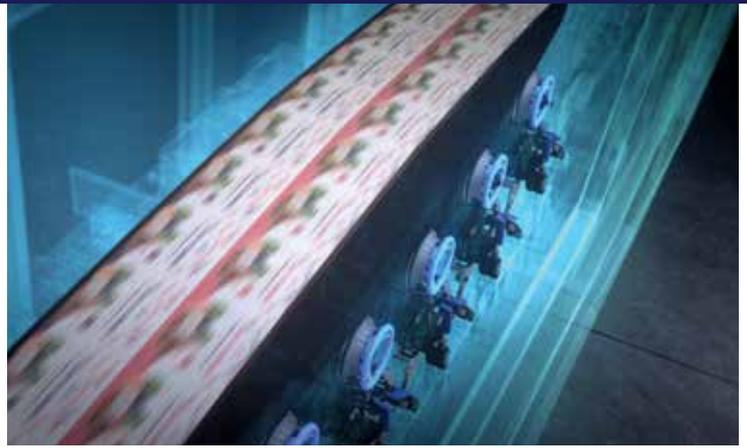


ラベル生産に再び革命を。

HP Indigo V12 デジタル印刷機は、HP Indigoの業界を勝ち抜く方程式に根ざした新しいLEP_xテクノロジーを採用。デジタルでの効率性を刷新し、フレキソ印刷機に匹敵する収益力を推進します。シリーズ 6 HP Indigo デジタル印刷機の最初の製品であるこの狭幅ロールラベル印刷機は、デジタル印刷からフレキソ印刷への損益分岐点を押し上げ、ラベル及びパッケージ生産におけるあらゆるアプリケーションとHP Indigoテクノロジーのメディア汎用性をサポートします。

HP Indigo V12 デジタル印刷機

業界を変えるLEPxテクノロジーを採用したHP Indigo V12 デジタル印刷機は、ラベル生産に革命をもたらします。コンバーターは、第一にIndigo、第二にフレキソという考え方に変えることで、市場を凌駕することができるでしょう。同時にブランドは、印刷品質やパッケージングの革新性において妥協のない、機敏で持続可能なサプライチェーンから利益を得ることができます。プレート、インキ調合、長時間の準備工程といったアナログ的な負担を取り除きます。毎分120メートルのHP Indigo V12は、複数のフレキソ印刷機と同等の生産能力を発揮し、1日あたり数万リニアメートルを生産します。



業界を勝ち抜く方程式

卓越した収益力

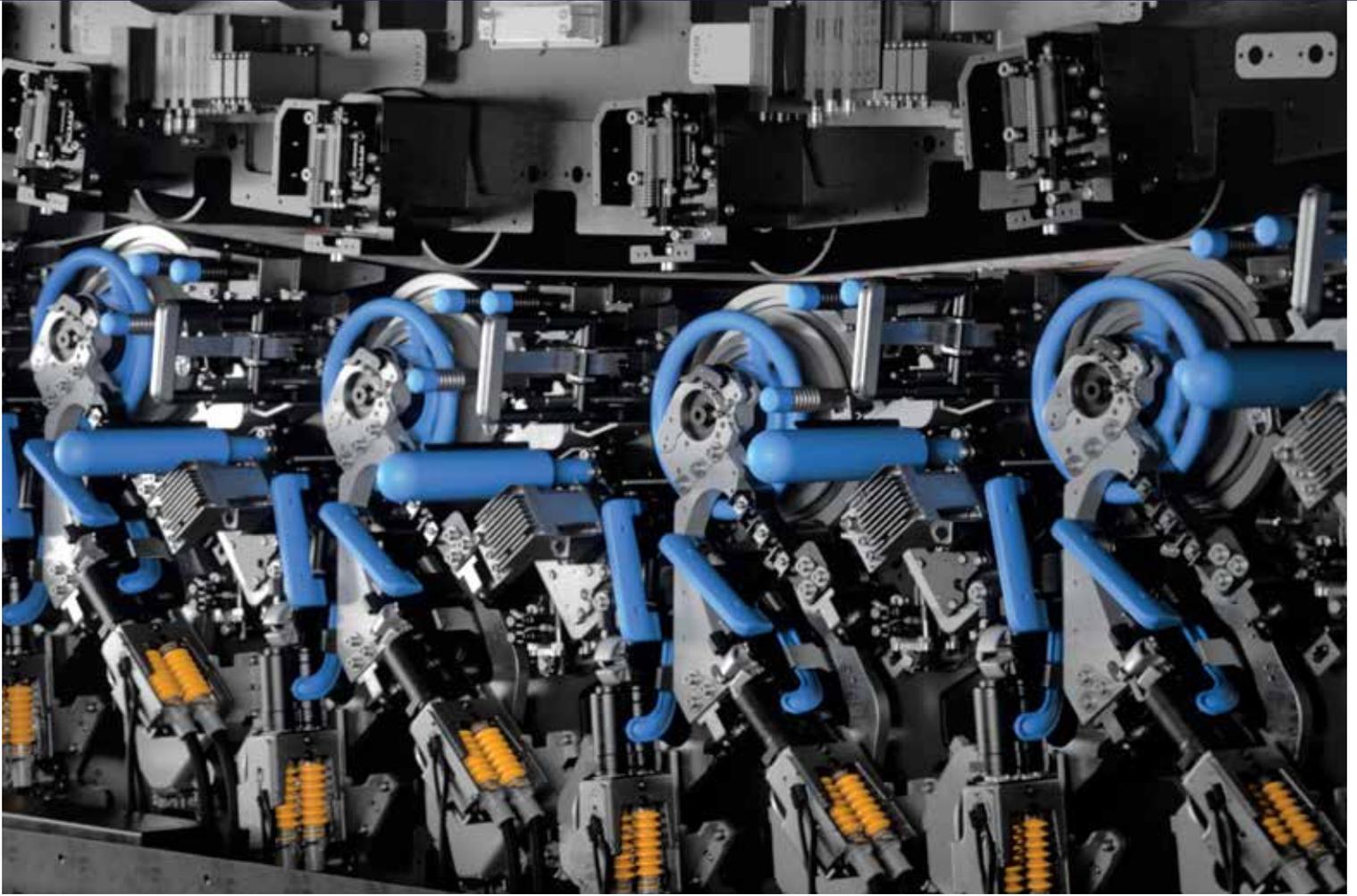
パワフルなV12のスループットを利用して、複数のフレキソ印刷機と同等の運用コストを置き換えます。

- 毎分120mの最高生産速度で中～大量ジョブに対応します。^[1]
- セットアップ時間と用紙の無駄を80%以上削減し、あらゆるサイズのジョブの収益性を向上。^[2]
- 複数のSKUや可変データジョブを短納期で簡単に生産。
- 革新的なオペレーターステーションにより、印刷機の制御、生産管理、デジタル品質保証が可能。
- 統合されたノンストップリワインダーにより、連続印刷を実現。

最先端のLEPxテクノロジーを用いることで、実績のあるHP Indigoの機能に基づいて構築された画期的な効率性により、お客様の業務を向上させます。

- 市場をリードする印刷品質でインパクトを与えます。^[3]
- インラインプライマーを使用して、40ミクロンから450ミクロンまで、ほぼすべてのメディアで高品質の印刷を実現。
- 12のインキステーションにより、インキ交換をなくし、デザインの可能性を高めます。
- HP Indigo自動カラーシステムにより、色の一貫性と精度を保証。
- スポットカラーおよびPANTONE®の最大97%までのカラーを提供する多様なエレクトロインキとその色域であらゆるジョブをサポートします。^[4]





収益性と持続可能性の融合

HP Indigoデジタル印刷機でジョブバスケットの大半を生産することで、コスト効率が向上し、ブランドは持続可能性の目標を達成することができます。

- 製品のリサイクル可能性と責任を持って調達されたメディアをサポートするエンドツーエンドのソリューションで循環型経済を促進します：リサイクル済み、リサイクル可能なもの、FSC®認証されたもの、PCW、堆肥化可能なものなど。^[1]
- 中ロットおよび大ロットの生産にジャストインタイムでの運用をすることで、競争力を高め、メディアの廃棄物や在庫スクラップを効果的に削減します。
- 環境に配慮した設計、カーボンニュートラルな製造、新しいデジタルプレートとブランケット。
- EUおよびFDA規制に準拠した食品包装^[6]



[1] 2022年9月時点の主要デジタル印刷競合他社の印刷機仕様比較に基づく最高生産速度。

[2] 2022年7月のHP社内分析に基づく、フレキシのセットアップ時間はおよそ1時間であるのに対し、HP Indigoのセットアップ時間は10~15分である。フレキシ印刷機のセットアップの無駄は、デジタル印刷機の数十メートルに対し、200~500メートルに及ぶ。

[3] 2022年11月現在、主要なデジタル印刷の競合他社と比較。

[4] 2022年11月現在、HP社内での分析によると、主要なデジタル印刷の競合他社と比較して、デジタル印刷業界で最も幅広いインキを提供し、最も幅広い基材に対応している。

[5] 選択されたHP Indigo エレクトロインキは、主要な基準に照らして堆肥化可能性でテストされ、特定の制限の下で、堆肥化可能なパッケージの印刷用インキとして使用できます（産業用および家庭用堆肥化）。承認されたインキと許可された制約についての詳細は、HP Indigo チームにお問い合わせください。

[6] 食品と包装は厳しく規制されたセクターであり、対象とするマーケットや地域、設置場所によって要件が異なります。インキに関連するコンプライアンスは、主にインキ物質が特定の包装材を通して食品に移行する可能性と、包装の意図された使用ケースに依存する。コンパターは、印刷プロセスで使用されるすべての材料が目的の用途とその使用条件に適合していること、および印刷が適正製造基準に従って実行されていることを確認するように注意してください。HP Indigoの食品包装規制への準拠：FDA、間接的な食品接触に関する連邦規則集のタイトル21。食品と接触する材料及び物品に関するスイス条例、RS817.023.21；食品包装材料及び物品の非食品接触面に適用される印刷インキに関するEUIPIAガイドライン（2020年4月版）；間接的な食品接触に関する欧州評議会決議 ResAP（2005/2）；包装用インキに関するネスレガイダンスノート、間接的な食品接触の除外リスト；非食品接触に関するドイツ食品法およびEU枠組み規則1935/2004の第3条。

技術仕様

印刷速度	120 m/分、6色モードまで 60 m/分、7~12色モード、またはカラー印刷の順序が印刷機の設定と異なる場合
印刷解像度	印刷解像度1624 DPI、64 dpmm。アドレス指定可能：1624 X 1624 DPI RIP解像度812 DPI、32 dpmm
印刷線数	HDI 175 HMF 200
印刷サイズ	最大321 x 5330mm
対応用紙の厚み*	40~450ミクロン
対応用紙の種類	粘着ラベル、紙、フィルム、板紙
ウェブ幅	最大ウェブ幅：340mm 最小ウェブ幅：200mm
インラインプライミングユニット	インラインでの表面処理、密着性向上を実現
巻出し機：最大ロール径	1000 mm
コア内径：	標準3インチ (76.2mm) 標準6インチアダプター (152.4mm)
最大ロール重量	270 kg
アンワインダー(巻き出し機)：最大ロール径	700 mm
プリントサーバ	PrintOS Production Pro for Labels and Packaging
インキステーション	12インキステーション：デュアル缶ステーション(リボルバー)4台 + クアッド缶ステーション(リボルバー)2台 + シングル缶ステーション6台
クラウド接続	HP PrintOS経由
印刷機サイズ	幅：14,130 mm、高さ：2,336mm、奥行き：2,092mm
印刷機重量	17,500 Kg
HP Indigoエレクトロインキ	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、オレンジ、バイオレット、グリーン
HP IndiChrome 6色印刷	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、オレンジ、バイオレット
HP IndiChrome 7色印刷	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、オレンジ、バイオレット、グリーン
HP IndiChrome 特色インキ	CMYKおよびオレンジ、バイオレット、グリーンを用いて、インキミキシングシステムにより調肉
PANTONE®カラー	PANTONE PLUS®, PANTONE MATCHING SYSTEM®, and PANTONE Goe をサポート。印刷機内の標準4色によるHP Professional PANTONE エミュレーション技術; HP Indi-Chromes; HP IndiChrome プラス; HP IndiChrome オフプレス (インキミキシングシステムによる調合) により、PANTONE® カラーの97%をカバーできる。
オプション	
自動ウェブフィード	バツスプライサー
自動アンローダー	ターレットリワインダー

詳しくはこちら
www.hp.com/jp/indigo

PUB Number - 4AA8-2065ENE, January 2023
This is an HP Indigo digital print

